



ニ  
情報

2021.5

## オワンクラゲ

オワンクラゲは、北アメリカ西海岸で見られるカサの直径が15cmほどのクラゲです。カサの縁にある発光細胞が刺激を受けて緑色に発光する仕組みを発見した研究で、2008年に下村脩博士がノーベル化学賞を受賞したことでも知られています。クラゲライフでは水そうの半分を紫外線ライト、残り半分をLEDライトで照らし、発光している状態としていない状態を見比べることができます。神秘的なオワンクラゲをぜひご覧ください。

Kamogawa  
SEAWORLD